

【参考】南部町立南部中学校「学校支援地域本部(地域との連携)」

《南部中学校での取り組み》

南部中学校では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会設置校）として「地域とともにある学校づくり」に力を入れている。あわせて町教育委員会内に設置された、「学校支援地域本部」により、学校教育全般に対し学校支援ボランティアを中心とした支援活動が展開されている。その一つとして、本年は、町民有志の方の指導により、生徒会組織の学習委員会とともに新春百人一首大会を開催した。町民の方の指導のもと、国語力の向上を目指し、日本の伝統文化を学ぶという取り組みである。生徒は全学年が集まり、単に大会を行うのではなく、地域との繋がりでの指導のなかで学習に取り組んでいる。

《南府中学校での事例》

生徒会組織（学習委員会）と町民有志による百人一首大会の開催

日 時：平成31年1月11日（金）午後1時10分～

場 所：南部中学校 体育館・格技場

参加者：南部中学校全生徒・職員、町民有志の百人一首の指導者（2名）、
見学サポーター（※学校の教育活動を理解してもらうとともに、学習活動等の見守りを行ってもらっている。）

活動内容：

学校運営協議会庶務内に位置される学校支援担当と学校支援地域本部間において、学習支援事業の一環として取り組まれている。三学期早々、全校生徒が参加し、体育館および格技場を会場として、午後1時10分から開催された。町民有志の方が指導者となり、その協力を得て、より本格的な競技かるたの要素も取り入れながら取り組んでいた。読み手からの情報を聞きとりつつ、生徒の真剣な表情が大変印象的であった。大会内容については学習委員会が事前に計画し、また学習支援として学校と学校地域支援本部とで計画、事前の打ち合わせが行われている。授業の一部として行われる百人一首だけでなく、地域の方々の指導を受けながら行う大会は、生徒にとっても地域の大人にとっても伝統文化を繋ぐという意味で、大変充実した内容で行われている。

